

HS事業部門「太陽光発電システム」販売開始

主力のHS（ホーム・サニテーション）事業部門において、住宅用太陽光発電システムの販売を開始いたしました。

「サンニクス太陽光発電システム」最大の特長は、価格性能比の高さにあります。

広く普及させるには、価格を抑える必要との考えから、仕入れ先を模索し、販売・施工・アフターメンテナンスの自社一貫体制を確立するなど諸条件をクリアして、「高性能・低価格」システムの提供を可能にしたものです。

この11月からは、余剰電力の電力会社への売電価格が1kWhあたり48円（従来の約2倍）に引き上げられ、設置者にとってのメリットが高まっております。価格競争力の高いシステムで、販売拡大を図り、クリーンエネルギー分野での成長を果たしてまいります。

■10年間での収支イメージ（3.5kWのシステム設置、現金でお支払いの場合）

システム価格150.15万円（税込）

売電収入 約100万円

電気代削減

約35万円

補助金

24.5万円

※売電量は、平均売電比率56%（財）新エネルギー財団「都道府県別kWあたりの年平均発電電力量と年間売電電力量（10年間）」よりとして試算。
※実使用時の発電電力量は、実際の日射、地域、屋根の形状や勾配、設置場所の周辺環境などの条件により変化する場合があります。上記数値を保証するものではありません。

■価格の比較（1kWあたり）

市場平均価格
（2007年・新エネルギー財団調べ）

69.6万円

サンニクス価格

約43万円

変換効率の高い単結晶モジュールを採用。各種周辺機器も標準装備（右側写真左上より時計回りで、パワーコンディショナ、太陽光発電用ブレーカー、カラーモニター、計測ユニット）。

環境資源部門 産業廃棄物最終処分場を買収

苫小牧発電所を運営する株式会社サンニクスエナジーは、平成21年10月30日に株式会社ホクハイ及び株式会社C&Rの株式を取得し、同社の子会社といたしました（合計取得額20億円）。C&Rは、ホクハイが賃貸する最終処分場を運営しており、今回の株式取得により、苫小牧発電所において、外部委託していた焼却灰の最終処分を、当グループ内で手がけることが可能となりました。焼却灰処理費用の低減はもとより、当グループ外からの収益を見込んでおります。



【会社概要】（平成21年9月30日現在）

商号 株式会社サンニクス
本社 福岡市博多区博多駅東2丁目1番23号
設立 昭和53年9月
資本金 140億4,183万円
従業員数 1,510人

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
同連絡先	同上
上場証券取引所	東証・大証一部、福証
公告の方法	電子公告 公告掲載URL http://sanix.jp （ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）

（ご注意）

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社サンニクス

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目1番23号
TEL.092-436-8870
URL.<http://sanix.jp>

SANIX

株主通信

第32期第2四半期累計期間
平成21年4月1日から平成21年9月30日まで



株主の皆様へ

株主の皆様には、ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、第32期第2四半期累計期間（平成21年4月1日より平成21年9月30日まで）の決算をご報告するにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当グループは、徹底したコンプライアンス体制のもと、経営の合理化に注力し、業績回復を図ってまいりました。当第2四半期累計期間におきましては、不透明感が残る景況の中、合理化策によるコスト削減が寄与し、黒字転換いたしました。

今秋より、HS（ホーム・サニテーション）事業部門におきまして、住宅用『太陽光発電システム』の販売を開始いたしました。過去20年余りにわたり、床下換気システムの動力源として、太陽電池を販売してまいりましたが、今後は本格的に、地球環境に優しいクリーンな住宅発電システムを提供してまいります。

また、廃プラスチックをリサイクル燃料とする『循環型発電システム』と合わせて、CO₂削減に貢献し、クリーンエネルギーの創造企業として邁進してまいり所存です。

平成22年3月期の通期業績予想につきましては、『太陽光発電システム』の販売開始による増収を見込んでおりますが、景気の先行きが依然として不透明であることから、足元の状況を鑑み、業績を慎重に見積もり直した結果、予想数値を修正いたしております。何卒ご理解くださいますよう、お願い申し上げます。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますよう、心より、お願い申し上げます。

平成21年12月



株式会社サニックス
代表取締役社長

宗政伸一

事業概況

当第2四半期累計期間における売上高は、景気低迷のあおりを受け、HS（ホーム・サニテーション）事業部門、ES（エスタブリッシュメント・サニテーション）事業部門、環境資源開発事業部門ともに前年同期比減収となり、グループ全体の売上高は12,057百万円（前年同期比10.1%減）となりました。利益面では、グループ全体として合理化策の推進により固定費削減が進み収益性が改善しました。営業外費用として、連結子会社である株式会社サニックスエナジーが、平成21年10月に北海道苫小牧市の最終処分場運営会社を買収したことに伴う支払手数料54百万円を、当第2四半期連結会計期間において計上しております。また、特別損失として、過年度事業税59百万円を計上しております。

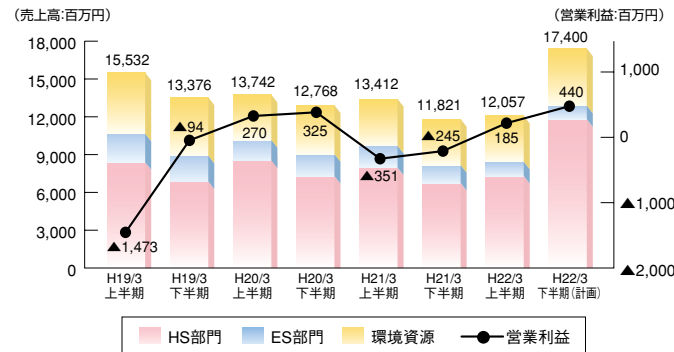
この結果、グループ全体の営業利益は185百万円（前年同期は351百万円の営業損失）、経常利益は133百万円（前年同期は368百万円の経常損失）、四半期純利益は60百万円（前年同期は737百万円の四半期純損失）となりました。

■通期連結業績予想数値（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

当社は、最近の業績の動向を踏まえ、平成21年5月13日に公表した通期の業績予想を次のとおり修正いたしました。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
前回発表予想	25,000	750	720	600	12.58円
今回修正予想	29,457	625	473	340	7.14円
増減額	4,457	△125	△247	△260	—
増減率(%)	17.8	△16.7	△34.2	△43.2	—
前期実績(H21/3)	25,233	△596	△620	△4,145	△86.88円

■売上高と営業利益の半期ごとの推移（連結）



連結財務諸表

■貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

項目	期別	前第2四半期連結 会計期間末(H20/9)	当第2四半期連結 会計期間末(H21/9)	前期末 (H21/3)
資産の部				
流動資産		3,853	3,921	3,894
固定資産		21,288	16,756	16,974
資産合計		25,142	20,678	20,869
負債の部				
流動負債		9,598	8,239	8,536
固定負債		1,405	1,649	1,602
負債合計		11,004	9,889	10,139
純資産の部				
純資産合計		14,137	10,788	10,730
負債純資産合計		25,142	20,678	20,869

■連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

項目	期別	前第2四半期連結 累計期間(H20/9)	当第2四半期連結 累計期間(H21/9)	前期 (H21/3)
売上高		13,412	12,057	25,233
(HS事業部門)		7,975	7,212	14,657
(ES事業部門)		1,674	1,229	2,976
(環境資源開発事業部門)		3,762	3,616	7,600
売上原価		7,757	6,889	14,674
売上総利益		5,655	5,168	10,558
販売費及び一般管理費		6,006	4,983	11,155
営業損益(△損失)		△351	185	△596
営業外収益		59	64	122
営業外費用		76	115	145
経常損益(△損失)		△368	133	△620
特別利益		270	69	613
特別損失		605	69	3,994
税金等調整前四半期(当期)純損益(△損失)		△703	132	△4,001
法人税、住民税及び事業税		45	61	105
法人税等調整額		△13	9	30
少数株主利益		2	1	7
四半期(当期)純損益(△損失)		△737	60	△4,145

■連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

項目	期別	前第2四半期連結 累計期間(H20/9)	当第2四半期連結 累計期間(H21/9)	前期 (H21/3)
営業活動によるキャッシュ・フロー		△66	356	△88
投資活動によるキャッシュ・フロー		△184	△87	814
財務活動によるキャッシュ・フロー		△83	△118	△696
現金及び現金同等物の増減額		△334	150	30
現金及び現金同等物の期首残高		1,019	1,049	1,019
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		684	1,200	1,049

■所有者別株式状況(平成21年9月30日現在)

政府・地方公共団体	0千株	0.00%
金融機関	3,369千株	7.08%
金融商品取引業者	1,138千株	2.39%
その他法人	11,240千株	23.62%
外国法人等	6,987千株	14.68%
個人その他	24,847千株	52.23%
計	47,584千株	100.00%